

開発テーマ名
欧州安全規格を取得した安全性の高い障がい児向けチャイルドシート
開発機関名
株式会社ミクニライフ&オート

【 報告書PDF 351KB 】

1. 全体の概要

0～14歳の肢体不自由者数は約46,000人と推定（厚労省「社会福祉行政報告例H29年度」）。その間に1回の支給申請を仮定した場合、毎年平均支給数は約3,000台となる。年間3,000台の市場規模がある中で、健常児のチャイルドシートは年々高い安全規格が定められる一方、障がい児用として補装具制度で支給されているチャイルドシートはいまだに安全規格をとっていない製品がほとんどである。安全性を考慮し、尚且つ、公費で補完できる製品が提供できれば、多くの障がい児にも健常児と同じ条件で、安全性を担保できると考えている。

2. 開発した支援機器またはシステム 「障がい児向けチャイルドシート」

障がい児向け座位保持装置「画像B」をベースにした新規部品「画像C」と、健常児向けチャイルドシート商品（ECER44取得品）を組み合わせる事で、安全性の高い新しい障がい児向けチャイルドシートの開発に着手。「画像D」が組み合わせ参考画像になります。

「画像A」は、20年度の最新試作となります。

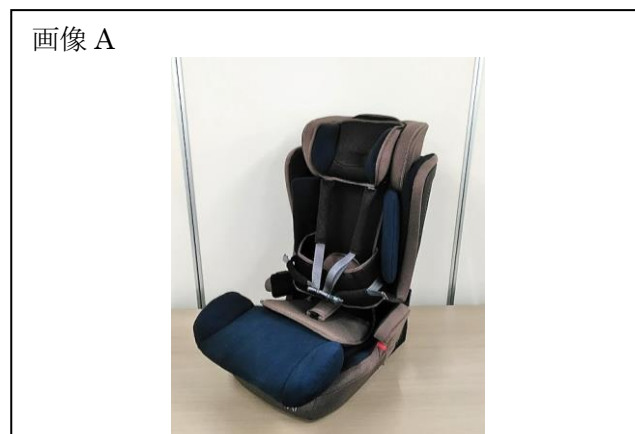


図 1 20年度の最新試作

画像 B



図 1 座位保持装置

画像 C



図 1 座位保持用 専用新規部品

画像 D



図 1 組み合わせ参考画像（チャイルドシート+座位保持部品）